



1人の女性が一生に産む子どもの数が1.5人とかわれ、小さい子どもを持つ同年代の母親が、隣近所にたくさんいるという状況での子育ては望めなくなっています。このため親子で気軽に参加できる場や母親同士の出会いの場が求められています。

しかし、子育て中の若い母親たちも手をこまねているわけではなく、親子で参加できるグループづくりや友達づくりが市内のあちこちではじまっています。これらに参加した若い母親にはいろいろな活動を通して社会と関わりながら子育てをしたい、子どものことを気楽に話し合える友達が欲しいと考えている人が多いことがわかります。青少年育成推進会議主催の「はあもにいセミナー」もたいへん好評で、募集定員をすぐにオーバーするほどです。

## こんな仲間がいます

### リトミックをとおして

リトミックを中心にした親子教室。自分の子供と一緒に習いたいと近所の同じ年代の子どもを持つお母さんに声をかけスタートして3年目、子どもも親も外に出たいと思っているので楽しみにしているという。これがきっかけで友達になり、行き来している人もあるとか。評判は上々です。

遊友会  
毎週水曜日 午前10時～  
埼玉コミュニティセンター  
近田信子 ☎34-0654

### 英語歌で子育て

#### 「マザーグースの会」

(代表 永森美子 ☎22-1246)

イギリスの伝承童謡を身振り、手振り、歌を交えて、英語で歌ったり、歌のイメージを絵にしたりして、幼児たちの情緒を高めていくことを目的としています。

また、外へ出て、いろんなことを体験させ、子どもたちに喜びや、感動を教えています。

今年2月には、道路工事の時に取りつける開いに巨大な絵を親子一緒に描きました。

### 和太鼓でリズム感養う

#### 「滑川聖徳保育園」

(☎22-7193)

今年、2月14日に行われた滑川公民館文化祭で、和太鼓の発表をし、観客の拍手喝采を受けました。

子どもたちのリズム感を養うためには、太鼓が一番と、秋山弘一園長が東京から講師を呼び、園児と先生たちを指導したのが始まり。今では、聖徳祭太鼓をはじめ、レパートリーは5曲、子どもたちも楽しく、元気に練習しています。



つながりを持ちたい...子育て中の若いお母さん

母と子が遊ぶ「キトウズ」



遊友会



滑川聖徳保育園の和太鼓



工事開いに巨大絵描き「マザーグース」



演劇マザーグース

### 動く絵本「演劇マザーグース」

(代表 木村静枝 ☎35-5750)

16年前キリスト教聖児幼稚園でのクリスマス会に母親たちが劇を行ったところからはじまり、子どもたちの卒園後、母親が集まって結成。子どもたちに動く絵本をと童話劇を中心に活動しています。衣裳や小道具も自分たちで作っています。

昨年11月市民会館での市民文化祭には「シンデレラ」を好演。幼児のサークルからの公演依頼が月4回もあるとか。

### 楽しくしつけ「びびよ学級」

(市健康課 ☎35-2311)

市健康課では、6か月～9か月の乳児と母親を対象に、子どもの自発性をひきだせるための親としての働きかけや子育ての不安解消、同じ悩みを持つお母さんの交流を目的に、歯磨きや食生活などのしつけを学ぶ講座を実施しています。

今年は『第1回 楽しく遊ぼう フリートーク』『第2回 楽しく遊ぼう はみがきしよう』『第3回 楽しく食べよう 料理と試食』それぞれ毎月1回、東多賀・河原子コミュニティセンターで実施します。

## 本部長レポート 生き生き百年塾と江戸文化

江戸文化ブームにあやかって、最近それらに関する出版物に接する機会が多くなった。その文化の特徴は「連」であり、共同性、無名性の色合いの濃さにある、という。「連」とは、必ずしも人が一堂に集まるサロンではない。「互いに影響を受け合い、連なりのなかで才能を発見し、発見され、それを磨き、文化が形になっていくこと」であるとか。

また「江戸しぐさ」とは、商人たちが自らの繁盛のために知恵をしばり、工夫して築きあげた人間関係の円滑化のノウハウである。「しぐさ」には、心がこもっている。仕草の前に思案がある。江戸っ子たちは、お互いに肩がきや地位で競い合わず、しぐさで競った。しぐさとは心映である。しぐさの美学で人間関係がつけられ、江戸が輝いたとのこと。すでに2百年前、「江戸の講」という人間ネットワークで、お互いに切磋琢磨し、共生の考え方や身のこなしを自らのものとした歴史の事実を否定しようもない。

これはまさに私たちが今唱えている「生涯学習で結ばれた共生社会づ

## テーマを持ちより話し合い

0～2才の子どもと母親が友達づくりを目的に活動しています。2年目に、会員が多くなりすぎたため、2つのグループに分けました。入会は随時で大歓迎。会員が交替で困ったこと、関心のあるテーマを持ちよりみんなで話し合いをしています。

ミッキー  
毎週水曜日 午前11時～  
東多賀・河原子コミュニティセンター  
中沢浩美 ☎38-0280

ミニー  
毎週水曜日 午前10時～  
埼玉コミュニティセンター  
桜田なおみ ☎38-0125

## 子どもと楽しくふれあい

### 「キトウズ」

(代表 矢代裕子 ☎21-6672)

キトウズとはかわいい子猫たちの意。子猫のようなかわいい子どもたちをしっかりと、イライラしたりして後悔する毎日を過ごさないために「母と子がふれあうことを楽しもう」をキャッチフレーズに、歌、鬼ごっこ、工作、誕生会・ピクニックなどで育児に関する情報交換を行っています。



くり」の姿そのものではないか。武士社会の権力に抗しながら、庶民生活に楽しさや夢を求めて共生社会づくりに知恵をしばり続けた江戸の町衆から、今の私たちが学ぶべきことは、沢山あるようである。

京都の「粋」に対して江戸の「イキ」は「生き、意気」であった。「生きている、息をしている」という生命のサインであった。高感度と行動力を合わせもった自分の心意気を美しく示す情報伝達の熟達ぶり、江戸っ子の「イキ」であったとすれば、今を生きる私たちが蘇る江戸文化から、何かをつかみとれようである。



